

児童センター安全管理指針

平成17年9月1日 児童保健事業部長決定
平成22年4月1日 子ども未来事業部長改定
令和6年4月1日 子ども未来部長改定

1. 利用者および職員の安全確保について

児童センター職員は、事故や災害、暴力・違法行為により、安全を損なう恐れがあると予想される場合（以下「想定事態」）は、本指針を基本としつつ、かつ臨機応変に対処し、もって利用者および職員の安全確保に努める。

2. 基本指針

（1）想定事態

- ① 事故および災害が発生した場合
- ② 他の利用者に著しく迷惑となる行為が見られた場合
- ③ 業務を妨害し職員の指示に従わない場合
- ④ 利用者および職員に危害が加えられる恐れがある場合
- ⑤ その他、安全を損なう恐れがあると判断される場合

（2）基本原則

未然防止の原則

日常から緊急時を想定し業務を見直し、安全確保を図る改善を行う。

初動対応の原則

緊急時には冷静かつ的確な判断に基づき迅速な対応を行い、被害を最小限に留める。

安全確保の原則

利用者に被害が及ばぬよう、避難誘導に最善を尽くす。

緊急通報の原則

職員のみでは対応が困難と判断した場合は、速やかに緊急対応機関に通報する。

3. 緊急時の留意事項

（1）協力態勢の確保

緊急時の基本原則である「初動対応」「安全確保」「緊急通報」を滞ることなく行うためには、職員全員が協力態勢でそれぞれの役割を行う。

（2）臨機応変の対応

刻々と変化する事態に、館長および職員が臨機応変に即応する。

（3）利用者および職員の安全優先

事態を軽視することなく、利用者の安全を最優先とする。また、職員には率先した対応が求められるが、無理をせず身の安全を保ち行動する。

（4）報告の原則

事件・事故の発生および被害状況を速やかに子ども育成課に連絡する。

＝緊急時の例示＝

緊急時には冷静かつ的確な判断が求められるが、いざその場になると詳細に定められた対処を円滑に実行できないことが想定される。

また、刻々と変化する事態に臨機応変な対応が必要となり、全てを事前に定めることは事実上不可能である。

そのため、「児童センター安全管理指針」の基本原則である「初動対処」「安全確保」「緊急通報」に際して、職員一人ひとりが具体的にイメージできるよう例示を作成した。

例示を参考とし、緊急時に職員が一致協力して対応するとともに、日常の未然防止にも積極的に働き掛けられたい。

＜例示＞

- ・ 児童が怪我をした場合
- ・ 児童から暴力行為があった場合
- ・ 不審者の侵入の場合
- ・ 火災が発生した場合
- ・ 震災が発生した場合

【児童が怪我をした場合】

利用児童が児童センター内で大怪我をした場合（大型遊具転倒など）

必須役割	内 容	例 示
初動対処	救急要請	救急車の依頼 ・ 救急車を呼んで！
	応急措置	応急措置 ・ 患部を冷やす ・ 止血する ・ 必要な場合は蘇生
安全確保	急変の防止	急変防止 ・ 安静にさせる
	二次事故の防止	事故原因の撤去 ・ 大型遊具の使用禁止 ・ 大型遊具の別保管
緊急通報	救急通報 119 番	救急通報 ・ 救急です ・ 住所、〇〇児童センター ・ 怪我の状況
その他	子ども育成課に状況報告	状況報告 ・ 第一報を連絡 ・ 怪我の状況を簡潔に報告
	保護者に状況連絡	状況連絡 ・ 謝罪 ・ 児童の怪我の状況を連絡 ・ 搬入先病院名を連絡 ・ 事故の状況を説明
	見舞い	入院先・自宅へ見舞い

※状況変化に応じた臨機応変な対応を行うこと。

【児童から暴力行為があった場合】

中高生児童が暴れ、職員および他の児童に危険が及ぶと判断した場合

必須役割	内 容	例 示
初動対処	暴走児童への制止声かけ	制止声かけ ・ やめなさい！ ・ 落ち着きなさい！
	指示に従わない場合は退館指示	退館指示 ・ 今日とは帰きなさい！
	危害を及ぼす恐れがある場合は大きな声を出し抑止	声出し抑止 ・ 警察を呼びますよ！ ・ 出て行きなさい！
	暴走行為を全階に知らせる	声出し・発報 ・ 職員集合！ ・ 学校 110 番の発報
	無理をしない暴走児童の抑止制圧	無理をしない抑止制圧 ・ 距離を取り声を出す ・ 危険なければ取り押さえ ・ 警察官到着であれば任せる
安全確保	児童の参集の呼びかけ	呼びかけ ・ 先生のところに集まれ！ ・ だれか居ない子は！ ・ 怪我人はいないか？
	児童の避難誘導	呼びかけ ・ 先生に付いて来て！ ・ ○○公園（避難場所）に集合
	児童の安全確認	安全確認 ・ 来館者表等で一人ずつ確認
緊急通報	警察通報 110 番	警察通報 ・ 児童が暴れています ・ 住所、○○児童センター ・ 事件状況
	救急通報 119 番	救急通報 ・ 救急です ・ 住所、○○児童センター ・ 怪我の状況
	併設施設へ連絡	保育園に連絡
その他	子ども育成課に状況報告	状況報告 ・ 第一報を連絡 ・ 被害状況等を簡潔に報告
	被害児童保護者に状況連絡	状況連絡 ・ 児童の怪我の状況を連絡
	加害児童保護者へ連絡	状況説明 ・ 暴力行為の説明 ・ 被害児の状況説明

※状況変化に応じた臨機応変な対応を行うこと。

【不審者の侵入の場合】

不審者が侵入し児童に危険が及ぶと判断した場合

必須役割	内 容	例 示
初動対処	不審者への声かけ	声かけ ・要件等を訪ねる
	指示に従わない場合は退館指示	退館指示 ・お引取りください
	危害を及ぼす恐れがある場合は大きな声を出し抑止	声出し抑止 ・出て行きなさい！ ・警察を呼びますよ！ ・みんな避難して！
	不審者の侵入を全階に知らせる	声出し・発報 ・不審者侵入！ ・職員集合！ ・学校 11 0 番の発報
	無理をしない不審者の抑止制圧	無理をしない抑止制圧 ・距離を取り大声を出す ・威嚇のためにものを投げる ・危険なければ取り押さえ ・警察官到着であれば任せる
安全確保	児童の参集の呼びかけ	呼びかけ ・先生のところに集まれ！ ・だれか居ない子は！ ・怪我人はいないか？
	児童の避難誘導	呼びかけ ・先生に付いて来て！ ・〇〇公園（避難場所）に集合
	児童の安全確認	安全確認 ・来館者表等で一人ずつ確認
緊急通報	学校 110 番 （警察通報 110 番）	警察通報 ・不審者が侵入しました ・住所、〇〇児童センター ・事件状況や犯人風体
	救急通報 119 番	救急通報 ・救急です ・住所、〇〇児童センター ・怪我の状況
	併設施設へ連絡	保育園に連絡
その他	子ども育成課に状況報告	状況報告 ・第一報を連絡 ・被害状況等を簡潔に報告
	保護者に状況連絡	状況連絡 ・児童の安否を連絡

※状況変化に応じた臨機応変な対応を行うこと。

【火災が発生した場合】

火災が発生した場合

必須役割	内 容	例 示
初動対応	火災発見時に大きな声を出す	声出し ・ 火事だ！ ・ みんな避難して！
	火災発生を全階に知らせる	声出し・発報 ・ 火事だ！ ・ 火災報知器の発報
	初期消火（消火器で消せる程度）	初期消火 ・ 消火器にて消火
安全確保	児童の参集の呼びかけ	呼びかけ ・ 先生のところに集まれ！ ・ だれか居ない子は！ ・ 怪我人はいないか？
	児童の避難誘導	呼びかけ ・ 先生に付いて来て！ ・ 外に飛び出さない！ ・ ○○公園（避難場所）に集合
	児童の安全確認	安全確認 ・ 来館者表等で一人ずつ確認
緊急通報	火災通報 119 番	火災通報 ・ 火事です ・ 住所、○○児童センター ・ 火災の状況
	救急通報 119 番	救急通報 ・ 救急です ・ 住所、○○児童センター ・ 怪我の状況
	併設施設へ連絡	保育園に連絡
その他	子ども育成課に状況報告	状況報告 ・ 第一報を連絡 ・ 被害状況等を簡潔に報告
	保護者に状況連絡	状況連絡 ・ 児童の安否を連絡

※状況変化に応じた臨機応変な対応を行うこと。

【震災が発生した場合】

地震が発生した場合

必須役割	内 容	例 示
初動対処	地震発生時は大きな声を出す	声出し ・机の下に潜れ！ ・卓球台から離れろ！ ・火を消せ！
	地震がやや収まったら呼びかけ	呼びかけ ・慌てないでそのまま！ ・すぐ収まるから！ ・飛び出すな！
	地震が収まったら呼びかけ	呼びかけ ・もう大丈夫、みんな無事か？ ・ゆっくり出てきて！ ・火元の確認！
	火災発生時は火災を知らせる 初期消火（消火器で消せる程度）	声出し・発報・初期消火 ・火事だ！火を消せ！ ・火災報知器の発報 ・消火器にて消火
安全確保	児童の参集の呼びかけ	呼びかけ ・先生のところに集まれ！ ・だれか居ない子は！ ・怪我人はいないか？
	児童の避難誘導	呼びかけ ・先生に付いて来て！ ・外に飛び出さない！ ・〇〇公園（避難場所）に集合
	児童の安全確認	安全確認 ・来館者表等で一人ずつ確認
緊急通報	火災通報 119 番	火災通報 ・火事です ・住所、〇〇児童センター ・火災の状況
	救急通報 119 番	救急通報 ・救急です ・住所、〇〇児童センター ・怪我の状況
	併設施設へ連絡	保育園に連絡
その他	子ども育成課に状況報告	状況報告 ・第一報を連絡 ・被害状況等を簡潔に報告
	保護者に状況連絡	状況連絡 ・児童の安否を連絡

※状況変化に応じた臨機応変な対応を行うこと。